

## ●兵庫教育大学 学校教育研究科

## 「小学校英語活動指導者・研究者の育成」の事例 &lt;人社系&gt;

**具体的に何を実施したのか**

学習指導要領の改訂に伴い小学校で必修化された「外国語活動」の指導者及び研究者を育成するために修士課程に「小学校英語活動プログラム」を開設し、本学修士課程における人材養成の目的との整合性のあるプログラムの実現と、学校教育現場でのニーズにも十分に対応することができるよう人材育成を行った。

**実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと**

プログラムで養成される資質・能力を明確にし、それに対応した科目を開講した。特に、インターンシップ科目（「小学校英語活動インターンシップ」および「海外教育体験実習」）を開講し、学修した知識やスキルを実践の場で応用する科目を設けた。また、外部評価委員会を設置し、取組の進捗状況について第三者によるチェックを行った。

**どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか**

インターンシップ科目のうち「小学校英語活動インターンシップ」では、県内の公立小学校に実習協力校になっていただき、外国語活動の実習を実施した。また、「海外教育体験実習」では、本学の提携校である米国のウィスコンシン大学オークレア校の協力を得て、参加学生は、ホームステイを行いながら、現地の小中学校での授業観察およびプレゼンテーションの実施などを行った。参加した学生からは、これらのインターンシップが、学習内容を応用する場として貴重な機会となったと好評を得た。外部評価委員会からも取組の進捗状況およびプログラムの効果については、良好であるとの評価をいただいた。

## ●兵庫教育大学 学校教育研究科

## 「小学校英語活動指導者・研究者の育成」の事例 &lt;人社系&gt;

**具体的に何を実施したのか**

学生の学習・研究の支援を行うために、特命教員を雇用した。また、学習環境の整備・充実を図るために、小学校英語活動プログラムを履修する学生専用の学習室として「小学校英語ラボ」を設置した。

**実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと**

特命教員が授業外に学生の指導を行い、研究力や英語運用力の向上を図った。また、小学校英語ラボに、学生用のPCを設置したり、教材や関連文献を充実させたりすることで、学習・研究環境の整備を行った。

**どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか**

特命教員の配置や学習環境の整備については、学生からも高い満足感を示す調査結果が出た。また、ラボを中心として、それぞれの学生の所属コースを横断するような学習コミュニティが形成されており、修士課程における教育研究を活性化する効果につながっている。

## ●兵庫教育大学 学校教育研究科

## 「小学校英語活動指導者・研究者の育成」の事例 &lt;人社系&gt;

**具体的に何を実施したのか**

本取組の3年目となる2011年10月に国内外から初等教育における外国語活動に携わる研究者を招聘し、「小学校における外国語教育に関する国際シンポジウム」を開催し、取組の成果発表と最新の実践事例や研究に関する交流を行った。

**実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと**

海外からの研究者の招聘にあたっては、米国、英国、韓国からこの分野の第一人者を招いた。また、国内からは文部科学省の教科調査官を招き、国内の最新の実践事例について報告をいただいた。さらに、小学校英語活動プログラムを履修する学生と韓国・大邱教育大学校の大学院生によるポスタープレゼンテーションを実施し、招聘スピーカー及び参加者との交流を図った。

**どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか**

当日の参加者は161名で、会場で本シンポジウムに関するアンケートへの回答をお願いした（回収率40%）。その結果、回答者の89%が「シンポジウムの目的が妥当である」と回答し、約90%が当日の運営や構成に満足していると回答した。一方、シンポジウムの目標の達成度については、54%の回答者が「達成された」と回答した。

また、ポスタープレゼンテーションを行った学生からは、自身の研究テーマ等について海外の研究者と直に意見交換を行うことができ大変有益な機会であったとの感想が寄せられた。